

千葉市あんしんケアセンターの後方支援体制について（進捗状況）

【現状の課題】

- ① 現在、各あんしんケアセンター間の相互調整や職員のスキルアップのための支援は、地域包括ケア推進課で所管しているが、平成29年度にセンターを現在の24か所から30か所に増設するため、今後も現行の体制（本庁一課）で行うことは困難かつ非効率である。
- ② 超高齢化が急速に進行し、一人暮らしの高齢者や認知症高齢者等の大幅な増加が見込まれることから、あんしんケアセンターの役割がさらに増大するとともに、平成29年度には新しい総合事業に移行し、地域の実情に応じてあんしんケアセンターが介護予防プランを作成することとなるため、センター間で格差が生じることのないよう、行政が直接開わり支援する体制が必要である。

	H26年	H37年
高齢者人口	230千人	286千人
高齢化率	23.9%	29.7%
認知症高齢者数	23千人	37千人
要支援・要介護認定者数	34,548人	66,404人

（市高齢者保健福祉推進計画より）

【期待される効果】

保健福祉センターの職員を活用することにより、多くのあんしんケアセンターから求められている市の関係部門との円滑な連携が可能となり、あんしんケアセンターの機能強化につながるとともに、人材育成や課題解決、多職種間とのネットワークが構築しやすくなる等のメリットがある。

【後方支援体制の整備】

平成29年4月1日より、花見川区・稲毛区・緑区にて以下の体制で開始する。

	配 置
担当職員	包括3職種[3名] ①保健師（新規配置1名／常勤） ②社会福祉士（配置済1名／常勤） ③主任介護支援専門員 （嘱託職員1名／あんしんケアセンター職員を委嘱）
配置場所	保健福祉センター高齢障害支援課高齢支援班 ※内部調整の結果、段階的に職員配置を実施していく。 平成29年4月 花見川区・稲毛区・緑区 平成30年4月 全区